

※保育園(所)は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。

感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願いします。

※感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園(所)生活が可能となつてからの登園であるようご配慮ください。

<医師用>

<h2 style="margin: 0;">意見書</h2>	
<p><u>以和貴保育園 園長殿</u></p>	<p style="text-align: right;">園児氏名 _____</p> <p style="text-align: right;">生年月日 _____</p>
<p>病名「 _____ 」</p> <p>年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になつたので登園可能と判断します。</p>	<p style="text-align: right;">_____ 年 月 日</p>
<p style="text-align: center;">医療機関 _____</p>	
<p style="text-align: center;">医師名 _____ 印 (またはサイン) _____</p>	

○医師が記入した意見書が望ましい感染症

感 染 症 名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹 (はしか)	発症1日前から発疹出現の4日後まで	解熱後3日を経過してから
風しん (三日はしか)	発疹出現の前7日から後7日間くらい	発疹が消失してから
水痘 (水ぼうそう)	発疹出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱・充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O157・O26・O111等)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間あけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで